

## 脳科学研究科脳科学専攻 博士課程後期 教育課程表

	科目名	単位数	開講年度						脳型計算論研究	脳・神経学際研究	備考		
			平成26年度		平成27年度		平成28年度						
			春	秋	春	秋	春	秋					
専門科目	システム神経科学論	2	○		○		○		※1	※1～※4の組から1組以上選択			
	システム神経科学技法	1		○		○		○					
	計算論的神経科学	2	○		○		○				※2		
	コンピュータシミュレーション技法	1		○		○		○					
	脳画像解析学	2	○		○		○		※3				
	ニューロイメージング技法	1		○		○		○	※4				
	発達科学	2	○		○		○						
	発達科学技法	1		○		○		○	※		履修プログラムの該当科目※から2科目以上選択		
	コミュニケーションロボット工学	2		○		○		○					
	脳型学習システム	2	○		○		○						
	パラレル情報処理解析学	2		○		○		○					
	認知心理学	2	○		○		○						
	情報創成科学	2		○		○		○					
	社会科学から見た脳科学	2	○		○		○						
	脳科学先端セミナーA(ロボット工学)	1	○	○	○	○	○	○				*	履修プログラムの該当科目*から1科目以上選択
	脳科学先端セミナーB(神経計算論)	1	○	○	○	○	○	○				*	
脳科学先端セミナーC(情報創成)	1	○	○	○	○	○	○	*					
脳科学先端セミナーD(社会科学)	1	○	○	○	○	○	○	*					
関連科目	研究者倫理論	2	○		○		○		1科目以上選択				
	心理物理学	2	○		○		○						
	神経経済学	2	○		○		○						
	社会システム制御論	2	○		○		○						
	神経感性工学	2		○		○		○					
	神経倫理学	2		○		○		○					
	病態神経科学	2		○		○		○					
	分子生命科学論	2		○		○		○					
研究法	脳科学研究法Ⅰ(研究サーベイ)	2	○						必修				
	脳科学研究法Ⅱ(研究計画)	2		○									
	脳科学研究法Ⅲ(データ解析)	2			○								
	脳科学研究法Ⅳ(論文作成)	2				○							
	脳科学研究法セミナー	2					○						

○は開講期

※平成27年度以降の開講期については変更になる場合があります。各研究科の授業時間割に従って履修してください。

### 〈修了要件および履修方法〉

- (1) 研究法より10単位を修得すること。
  - (2) 研究指導教員の指導により、専門科目および関連科目から10単位以上を修得すること。
  - (3) 前項(1)(2)の要件を満たし、合計20単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
- (履修科目の登録の上限：10単位(半期))

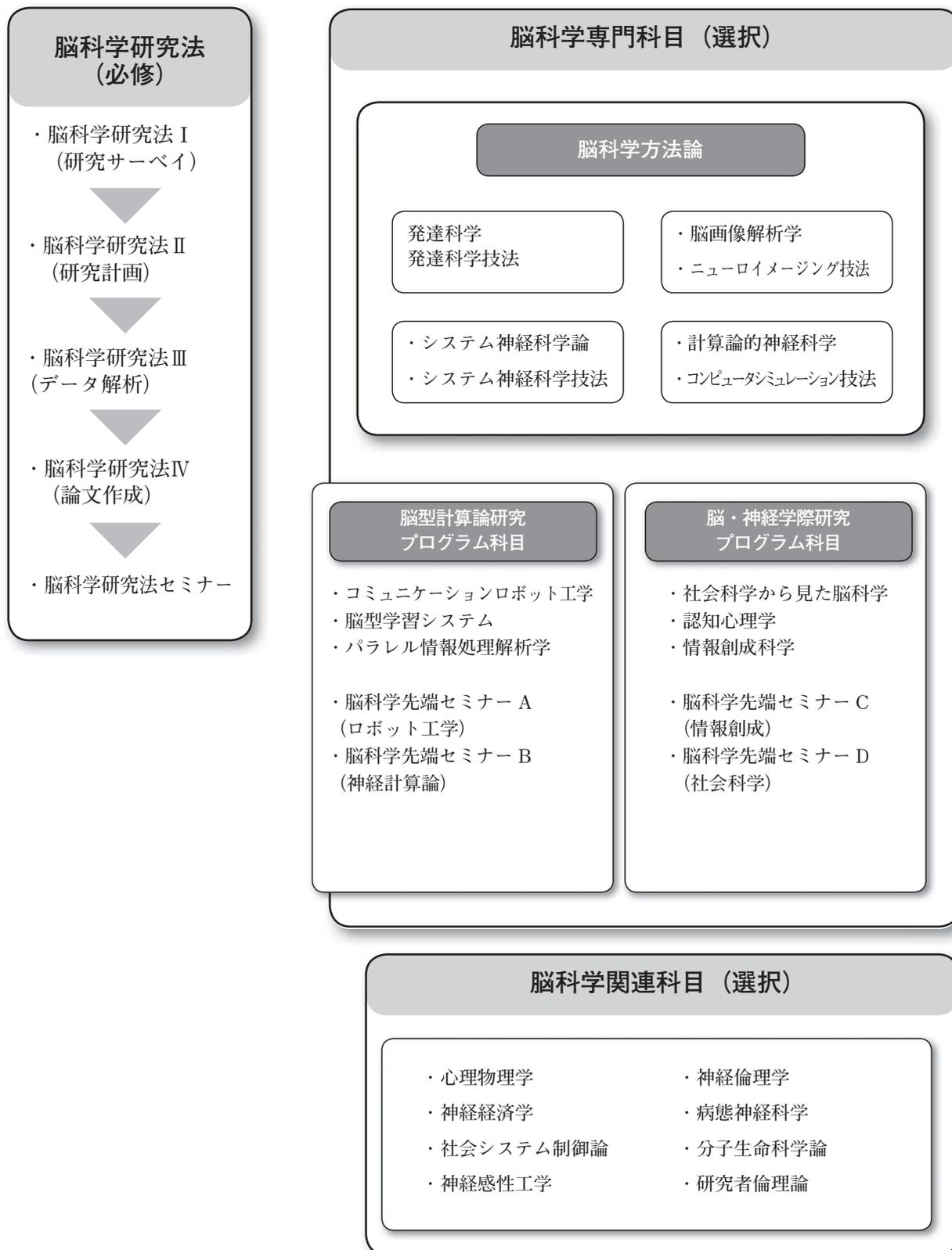
脳型計算論研究プログラムの修了生には「博士(工学)」、  
脳・神経学際研究プログラムの修了生には「博士(学術)」の学位が授与されます。

I 学修にあたって

II 教育課程表および講義内容  
脳科学研究科

III 学則・規程

## 脳科学研究科脳科学専攻博士課程後期の概要イメージ図



※脳型計算論研究プログラムの修了生には「博士（工学）」  
脳・神経科学研究プログラムの修了生には「博士（学術）」